

社会福祉法人報恩良友会 ケアハウス「ロータス桑野」発行
岡山市中区桑野 486-12
TEL086-276-9801

ひろば

vol. 183

ひととき

異なるものとの出逢い

施設長 中島 聖恵

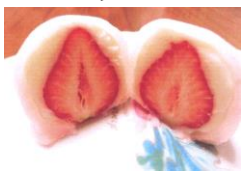
お彼岸に春休み中の孫まで全員で先祖のお参りに来てくれました。先日の雛茶会の和菓子があまりにも美味しかったので、和菓子を皆で頂こうと思いついて近くの和菓子屋さんに行きましたら、ふとイチゴ大福が目に残りました。「明日でも大丈夫ですか」と尋ねたところ、店のご主人がきつぱりと「だめです」と言下に厳しい口調です。仕方なく和菓子を求め、取りあえずイチゴ大福を二個買って帰りました。夕食後、くだんのイチゴ大福を頂いて、思わず主人と顔を見合わせました。イチゴが大きくて新鮮、みずみずしく周りの大福と調和して得も言われぬ美味しさです。店のご主人の厳しい口調がうなずけました。今年になって初めてのイチゴ大福です。しかもこんなに美味しいイチゴ大福は初めてです。又お店に寄りました。なんと定休日でした。懲りもせずもう一度出かけました。あれ！イチゴ大福がありません。思わず「もう売れ切れてしまったのですか。こちらのイチゴ大福はとても美味しいですね。あんなに美味しいのは初めてです。残念」と口走っていました。「この時間にはもうないですよ。お電話をくださいれば、いくつでもお取り置きしておきますから」先日とは打って変わって耳を疑うような優しさです。「大福のお餅は何ですか」「羽二重餅ですよ」「ほう、羽二重餅ですか。餡も美味しいですよね」「〇〇餡です」企業秘密までお話し下さいました。

新鮮な生のイチゴと大福の取り合わせ。誰がこのような取り合わせを考えたのでしょうか。その発想、その創造性、それぞれイチゴはイチゴ、大福は大福で十分に美味

しい。しかもイチゴは一番鮮度が問われる果物です。薄い羽二重餅に楊枝を入れると新鮮なイチゴが現れて、餡との絶妙な味のハーモニーを作り出しています。

以前に食べた時にはこんなに感動しなかったのに何か違う、何が違うのかしら。確かこのお店に前はイチゴ大福がなかったように思うのに手がけられている。看板に恥じない商品になるまで、きつと随分失敗や試行錯誤を重ねられたのでしょうか。異なるものと異なるものが出逢って、それぞれの個性を生かし合いながら見事な味の看板商品が生れたのです。異質なものと出逢いが素晴らしい商品を生む。そこで新しい価値が生まれることに私は驚き、感動しました。

四月は出逢いの月です。入園、入学、入社、転職、様々な人との出逢いや新しい仕事・勉強との出逢いが待っています。その出逢いがそれぞれの人生で、一生大事に付き合う友達を作るチャンスになることでしょうか。性格が全く違う人との出逢いであったとしても、それをよい関係にしていくことで、かえって深い絆を作ることになるかもしれません。どんな人でも誰でも、人生が良い事ばかりの連続という事はありません。挫折することもあります。その時です。イチゴ大福の様に全く予期せぬものとの出逢いをよい関係性にしていくことで、新しい価値が生まれ、感動のドラマが生まれると思うのです。逃げないでその出逢いと主体的に向き合い続けることで、周りに助けられ、守られて乗り越えていける良い関係性を作り、自分らしい人生、感動のドラマの人生に出来たら素晴らしいですね。



川柳

「花・華」

願わくば残る人生夢花火
お日様と約束がある花の種
花は華ドライになつても玄関に
桜咲く花見の下で笑顔咲く
花切つて想う私の尊厳死
花一輪夢を託して水注ぐ
着物着てしとやかに観る華道展
常夏の花に驚くツアー客
春が来た桜の開花近日中
誕生日昔はバラが今だんご
感謝ですいつも花ある食卓に
花を活け私の査定は平凡だ
手を掛けて育てる花がよく枯れる

幸子 養子 なか 沙也香 緑 金蚤 和夫 厚彦 菊江 秀子 よしか 初音 佐千子

春来たり色とりどりの華ひらく

花水木私は見てる好きだもん

読者より

花売の車一ぱい葦草

小花にも輝く命与えられ

四月の行事予定

五日(水) 一一時 花見 ふれあいセンター

一日(月) 一四時 押し花

一日(火) 一四時 エステ

一日(土) 一五時 親睦会

一六日(日) 午前中 散髪

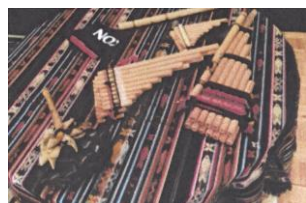
二〇日(木) 一四時 川柳「会う」

二二日(金) 一一時 食事会

二五日(火) 一四時 踊り「コスモスの会」

二八日(金) 一〇時 買い物

三〇日(月) 一四時 フォルクローレ 「ロス・アンデス」



南米アンデスの民族音楽
フォルクローレの楽器です

ロータス春の畑



そらまめ



えんどう



四月生まれのみなさん

おめでとう
ございます

